

発行：京都市 PTA 連絡協議会・京都市教育委員会
 お問合せ先：京都市 PTA 連絡協議会事務局
 TEL：075-801-4796
 市P連ホームページ：<http://www.kyoto-pta.jp/>
 メールアドレス：kyoto-pta@edu.city.kyoto.jp

CONTENTS

- P.1・4 ● みんなのPTA活動！
- P.2 ● 総P連本部役員合同交流会
- 幼P連できたよ！カード・親子音楽鑑賞会
- P.3 ● 高P連この1年を振り返って
- 親まなび委員会右京区支部研修会
- 市P連と市教委との教育懇談会
- 中P連研究集会開催
- 小P連研修会
- 日P 第60回日本PTA全国研究大会京都大会
- はぐくみ委員会支部研修会



みんなの PTA 活動!

3月に入り、PTA活動もいよいよ、まとめの時期となりました。来年度のPTA活動に向けて、「PTA」という言葉に不安や疑問を抱えられている方もおられるのでは…そこで今年も「みんなのPTA活動」という特集を組み、1年間PTA活動をしたことで感じたことを思い思いに語っていただきました。PTA会員さんの“生の声”を紹介します！

ふれあい

関わってしまえば楽しいPTA活動

一年をふりかえって、そもそも私がPTAの、それも本部になぜなろうと思ったのかということ、前年度に地域委員を引き受け、子どもたちや地域、学校と接するなかで、直接学校の事をもっと知りたいと思い、一年ですべてが見える本部へ知り合いを引き連れて参加したのが始まりでした。

はっきり言って体力的には疲れましたが、とても人間関係が広がり知識も増えました。そして、何より子どもの様子を知ることができたり、先生方との距離がぐっと近くなり、地域みんなで子どもたちを守り育てるという具体的な意味もわかり、体の疲れ以上に充実した一年を過ごせました。

家族の協力がないと活動は難しい時もありましたが、関わってしまえば楽しく出来るし、充実感は思った以上にあります。本当に私にとって貴重な経験の一年でした。

桂小学校 PTA 山岡 彩

気づき

楽しく、笑いが絶えないPTA活動

引き受けた時は、仕事との両立でやっていけるのか不安でしたが、始めてみると同年代の子どもを育てる保護者同士ですので、その時間はとても楽しく、笑いが絶えず、いつの間にか仕事や家庭のストレスをPTA活動で解消させてもらっているという感じでした。

PTA活動の一貫として、様々な行事や研修会に参加して刺激を受けたり、子どもたちが成長していく中で、地域社会の方々、保護者の方々の見えない所での多くの活動や支えがあったのだなと実感しました。また、子どもたちが輝いている時間のお手伝いを通じて共に過ごすことで、自分も若返ったつもりで楽しんだりして、充実した感謝と喜びでいっぱいの日々を過ごさせていただきました。

伏見工業高等学校 PTA 真野 佐智子



学び

結果オーライな利己主義!?

「子どものために何かしたい!」そんな清く正しい動機ではなく、「何事も経験! やって損はない!」という利己主義な動機でPTA役員になった私。そんな私ですが、二年間のPTA活動を振り返って最も思い出に残る活動は、意外にも子どもたちと直にふれあえる校内の小さな行事の企画・運営でした。子どもたちが喜ぶ姿を想像しながら催し内容を考えるのはとても楽しいもので、実際子どもたちの純粋な笑顔を見るとうれしくなり、そしていつの間にか自分も夢中で楽しい時間を過ごしているのです。様々な活動の中で時には失敗・後悔することもありましたが、本部の仲間とは「第二の青春」と思えるような濃い時間を過ごし、子どもたちとの楽しい思い出もでき、「やって損はない」どころか、すべてが「勉強・良い経験」となった二年間のPTA活動でした。

北醍醐小学校 PTA 川端 由紀子



自然体、これが私のPTA

PTA会長を引き受け、最初は要領を得ず戸惑いばかりの毎日でした。しかし、「大変やけど、がんばってくださいね」との周囲からの声や、多くの人との出会い、ふれあい、挨拶する機会が増えるに伴って、笑顔になれる日が増えてきました。コミュニケーションが如何に大切なのかを、しみじみと感じた一年となりました。しかし、ここだけの話ですが、積極的にしすぎた分大変に感じたときもありました。肩肘張らず自然体、これが気軽に見せ自分自身楽しむ方法ではないかと思っています。

山科中学校 PTA 深川 忠嗣

PTA活動を通して気付いた、大人の行動

今年度、PTA活動に携わらせていただき感謝しております。活動の中でたくさんの気づきがあり、知らなかったことを学ぶことができたと同時に、大人がもっとしっかりしなければいけないと実感しました。子どもがある意味、大人の犠牲になっているのかもしれない。大人の内面を子どもが鏡となって、映し出している一面があるのではないのでしょうか。大人が気づきをもって、思うだけではなく行動し、必要ならば素直に改善していくことが大切で、それが子どもを育む力になっていくのではないかと思います。

加茂川中学校 PTA 阿部 勝

第30回 中P連研究集会開催



1月18日、京都アスニーにおいて、京都市立中学校PTA連絡協議会(中P連)、第30回研究集会を開催いたしました。今回の内容は中P連教育向上委員会からの報告と、講演会の2本立てで行いました。

教育向上委員会からは、10月25日に行われた「私学との教育懇談会」及び11月15日に行われました「市教委との教育懇談会」における懇談内容について平野委員長より報告を行いました。

また、講演会では、立命館大学大学院教授であり漫画家としてもご活躍されています団 士郎氏をお招きして、「家族を生きる深さと豊かさ～木陰の物語から～」と題してご講演いただきました。児童相談所、知的障害者更生相談所の心理職、職員相談所のカウンセラー、家族療法室のセラピストなど30年



「家族」をテーマにご講演いただいた団 士郎先生

にわたる経歴から、家族について、著書「家族の練習問題—木陰の物語—」の内容に触れながら、軽妙な語りの中に、随所に会場を埋め尽くした参加者同士が相互に語り合う場面も組み込まれてお話しをいただきました。あっという間の100分間でしたが家族の大切さ・暖かさ・絆を再認識させていただけた貴重なひとときとなりました。



← 第30回研究集会会場内の様子

できたよ! カード

毎月16日に全16幼稚園で活動しているノーテレビ・ノーゲームデーの平成24年度版「できたよ! カードセット」を作成しました。

次年度からはテーマを「家族で団楽 ～色々話そう～」とし、活動目標を子どもを共に育む京都市民憲章の行動指針となっている「電子映像メディア依存」について考え直すことと、単Pに「毎月16日にエコ活動をしよう!」と呼びかけ更なる充実に向けて足並みを揃え活動することに致しました。

幼P連会長 谷口 由美

みんなにっつぽれ

幼P連 だより

親子音楽鑑賞会

1月14日京都コンサートホールにて「第6回京都市立幼稚園親子音楽鑑賞会～家族 de 楽しむオーケストラ～」がありました。

一度は聞いたことのある曲が多く親しみやすく心地よいコンサートでした。子ども達は知っている曲の時は手拍子をしたり、体でリズムをとったりと楽しんでいました。客席には、ちびっこ演奏家の姿が多く見られ、中でも一番人気は指揮者です。将来この中から音楽家が誕生するかもしれません。



子どもたちを魅了した京都市交響楽団

このような貴重な体験ができる機会を与えていただき感謝いたします。

幼P連渉外 眞壁 鈴子

「本部役員合同交流会」開催!!



本年度、総P連は「伝えよう～心のつながり・交流の輪～」をテーマに2回、交流会を持ちました。7校が学校や子どもの障がいの違いを超えて、その保護者同士として交流を持ち、仲良くなることは、社会がこれまで以上に障がいのある児童生徒を受け入れ、子どもを取り巻く環境を少しでも改善できることにつながると思います。

1回目は、昨年7月11日白河総合支援学校にて、ビーズアクセサリー作りを企画し、13名の方がビーズリングを作りました。参加された皆さんは、ほとんどが初めてのチャレンジでしたが、四苦八苦した作業でも、あちこちで楽しい笑い声が絶えず、すてき



真剣に取り組むビーズ作りでの様子

なリングも出来て、充実した一日となりました。

総P連会長 内田 寿恵

2回目は、昨年11月16日Pフェスを10日後に控えたこの日、東総合支援学校にて、合同コーラス練習を行いました。最初は、パート別の音もバラバラでしたが、繰り返していくうちにパート別のチームワークができて、ハーモニーになってきました。練習のあとは、昼食会を兼ねての本部役員合同交流会。メニューは、東総合本部自慢の焼きそばと豚汁。一人ひとりの自己紹介と、本部役員になりたいいきさつなどをネタに、どんどんと話が進んで、和やかでにぎやかな交流会となりました。

総P連副会長 板野 美由紀

小P連研修会 『児童虐待防止と地域の役割』

2月15日、花園大学社会福祉学部特任教授の津崎哲郎氏による講演で、児童虐待の現状や対策などについての話をお聞きしました。

虐待の問題は誰にとっても無関係ではありません。

被害児童は学校や社会で問題行動をとりがちです。そのとき周りが「あの子は悪い子だ」とレッテルを貼るのは「二次的虐待」。その子をますます追いつめ、悲惨な結果を招きかねません。この点を意識しないと、知らないうちに加害者になってしまいます。

私たちにまずできるのは、「あたたかい声かけ」です。

虐待された子どもはのちに加害者に転じてしまう場合も多いそうです。でも、そうならない人もいます。その道を

分けるのは、自分を受け入れてくれる大人の存在です。

近所の人が気にかけてくれた、先生が優しくしてくれた、などの思い出が、子どもの人生に大きな違いをもたらすのだそうです。

これまでPTAで多くの勉強会に出席しましたが、必ず辿りつくのが「自己肯定感」と「人と人のつながり」の大切さ。「自分は生きていてもいい人間だ」と思えること、笑顔で言葉を交わすことがどれほど大事なのかを、皆さんも思い出してください。

みんなで子どもと関わる近所のオジチャン、オバチャンになりませんか。

広報部 西村 真理子 (左南支部 養徳小)

親と子のこころの電話

☎ 075 (801) 1177 (だれでもお気軽にお電話ください。秘密は堅く守られます)

相談時間▶10:00～16:30 ※火曜(祝日の場合は翌日も)日曜、祝日、年末年始は休み

KYOTO 2012 MARATHON

3月11日(日) 京都マラソン開催

大会当日はノーマーカーデー

京都マラソン(平成24年3月11日(日)実施)はランナーはもちろんのこと、その家族や友人など、国内外から多くの来訪者が見込まれる一大イベントです。ノーマーカーデーにご協力をお願いします。

お詫びと訂正

前号(PTAフェスティバル特集号)のおやじの会模擬店紹介コーナーにおいて、本来であれば「嵯峨小」と表記していましたが、お詫びして訂正いたします。

第60回日本PTA全国研究大会京都大会 平成24年8月24日(金)分科会開催!



第6分科会
実行委員長
塚原 史郎
(桃山中PTA)

皆様のご協力が必要です。よろしくお願い致します。

第5分科会
実行委員長
菅野 直行
(太秦小PTA)

第7分科会
実行委員長
村島 智
(旭丘中PTA)

分科会部会
部長
青島 廣高
(蝶々岡中PTA)

特別第1分科会
実行委員長
松井 忠弘
(朱雀第六小PTA)

第3分科会
実行委員長
侯野 一博
(川崎小PTA)

「地域の子どもは地域で育てる」京都市には明治のはじめより脈々と引き継がれている良き伝統が今もしっかりと根付いています。この夏、京都の地に全国から8,000名有余の子育て真っ最中の親たちが集まり、「第60回日本PTA全国研究大会 京都大会」が開催されます。

京都市ではみやこめっせを会場に5つの分科会が開かれます。京都市の会場以外にも5会場があり、子どもたちの今と未来について全国の皆様と共に考え、語り合いたいと思います。現在、それぞれの分科会では、実行委員長を中心に着々と準備を進めております。

今後、皆様各PTAにもご協力、ご支援を仰ぐ事と思っておりますが、京都市のPTAの底力を全国の皆様に発信出来ますよう、ご協力をお願い申し上げます。

日P京都大会 分科会部会 部長 青島 廣高

各分科会には皆さんの身近な方がきっと実行委員として関わって下さっているでしょう。

子どものために大人が学ぶまたとない機会です。

ぜひ関心を持って頂けたらと思います。

日P京都大会 検索

市P連と市教委との教育懇談会

“子どもたちが夢と希望を持てる社会に向けて”

1月27日 本能寺会館にて、京都市PTA連絡協議会(市P連)と京都市教育委員会(市教委)との教育懇談会が行われ、長屋市P連会長をはじめ、5校種から24名の市P連常任理事が出席し、高桑三男教育長ら市教委の局部長級職員の方々と、子どもたちが夢と希望を持って健やかに育つ社会の実現に向けて広く意見交換をしました。

懇談概要 京都市独自の教育改革を進めているなか、「小中一貫教育」や「学校運営協議会」、「2期制」さらには「防災教育」などPTAとしても特に関心の深い教育課題について、市P連からの提案や質問を中心に活発に意見交換を行いました。

また、小学校は今年度から、中学校は来年度から実施の新学習指導要領や、市P連が緊急課題として取り組んでいる子どもたちの規範意識育成についても熱く語り合い、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の推進に向けて学校・家庭・地域・行政が互いに協力し合うことを確認しました。

今年も予定時間を過ぎるほど熱い議論が交わされ、今後の市P連の活動方針を定める上でひとつの節目となる充実した懇談会となりました。

懇談テーマ

1. 京都市の教育について
 - (1) 東日本大震災を踏まえた防災対策の推進について
 - (2) 地域に開かれた学校づくりに向けて
 - (3) 教育内容の更なる充実に向けて
 - (4) 教職員のサポート体制について
2. 子どもたちの規範意識を育むために
 - ～学校・家庭・地域がどのように取り組むべきか～



様々な教育課題について提案する市P連の役員ら

詳細は市P連HPに掲載いたします ▶▶▶ <http://www.kyoto-pta.jp/index.html>

高P連 だより

この1年を振り返って



山科で開催した提灯作成の行事

これまで、PTA活動とは全く無縁でいた私にいきなり塔南高校PTA会長と、それに伴って市立高校9校代表の高P連会長にと要請され、戸惑いながらも引き受けすることになり、ほぼ1年が経ちました。市P連、高P連そして単Pそれぞれの活動では、皆さんの熱意・情熱に圧倒され自分自身の甘

さを痛感し、これまで以上に人間的に成長できたことに感謝しております。そしてこの楽しくもあるPTA活動にこれまで以上の多くの方が参加して、子どもの健全育成に一致団結して努めてほしいと願っています。

塔南高校PTA会長 森井 清司

中P連 親まなび委員会

第3回 親まなび研修会 右京区支部 (鳴滝総合支援学校・学校見学会)

2月1日、第3回右京区支部親まなび研修会を、鳴滝総合支援学校で行いました。

当日は中P連の久米会長と阿部親まなび委員長の参加もいただき、20名での研修会となりました。

鳴滝総合支援学校は、隣接する宇多野病院に長期療養・入院する児童生徒を対象とする小・中・高等部の児童生徒への病弱教育を実践されてきました。平成16年からは高等部に生活産業科が設置され、知的障害や肢体不自由のある生徒に対して企業就労を目指した教育が行われており、さらに平成22年から病弱により京都市立病院等に入院療養している小・中学校の児童生徒が安心して教育を受けられる事を旨として、訪問教育も発達して

います。校内を見学させて頂き、生徒たちが生き生きと活動し、明るく挨拶してくれる事に大変驚き、先生方のきめ細かい指導がいろいろなところを感じられました。

実習室に掲げられた言葉に、この日参加した多くが感銘を受けました。「自分から言っ初めて“挨拶”という。人に言われて言うのは“返事”。」

中学生だけでなく幼稚園児から高校生、もちろん大人にも通じるとても心に響く言葉ではないでしょうか。早速この日から家庭で子供に伝えていきます。本当に“学ぶ”事がたくさんあった研修会でした。

親まなび委員会右京支部正代表 前川 博美



クリーニング実習用のYシャツボディプレス機

同校には、部活動に「卓球バレー」があります。なんと発祥の地なんです。最近では、高齢者にも人気のスポーツです。



小P連 はぐくみ委員会

支部研修会に参加

子どもの自尊心を守る
～「自分が大好き」になるために～

1月13日、北下支部代表のはぐくみ委員さんのお誘いを受け、葉明小学校での研修会に参加させていただきました。和やかな雰囲気の中、児童精神科医で少年鑑別所法務技官の定本ゆきこ先生のお話が始まりました。子どもの発達には、「望ましい循環」と「望ましくない循環」があるそうです。子どもの発達に合わせた適切な課題の達成による周囲からの肯定的な評価によって良好な自己評価と自己尊重感を獲得し、前向きで意欲的な構えが出来るのが「望ましい循環」で、逆に周囲の否定的な評価(叱責や体罰等)からは、低

い自己評価や周囲への不自信と被害感を持ち、前向きになれないそうです。大人でも誉められればうれしいし、否定されたら落ち込んだりするなあと納得しました。また、発達障害についてのお話もありましたが、障害のある無しにかかわらず子どもを正しく知り、受けとめ、「いいところも悪いところも全部含めて、あなたが好き」と伝えることが大切だとお話されました。定本先生のおだやかにゆったりした口調が印象深い講演で、終了後は、温かく前向きな気持ちになりました。

はぐくみ委員会副委員長 小倉 有子

絆

あえて自分の苦手なことを

本部の仕事を引き受けた後に、13年に1度の支部代表校と聞き、言葉では言い表せない驚きがあった事を覚えています。本部を引き受けた理由は3年前に病気で亡くした長男の事がきっかけでした。それまでは世間との関わりを断ち、人との付き合いが怖い毎日を過ごしていましたが、このままではいけないと思い、あえて自分の苦手とする事に取り組んでみようと思えました。最初に感じていた不安な気持ちはやがて皆の「絆」に変わっていきました。前向きで明るくなった自分があるのは、この「はぐくみ」の活動のおかげだと今は「感謝」の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

北白川小学校 PTA 和田 恵理



地域の絆の強さが災害に負けない街へ

京都市P連として、『仙台市PTA復興応援フェスティバル』で「万華鏡づくり」の活動を通し、仙台の様子を知る機会を得ました。復興がまだまだ程遠い状態のことは皆さんご存知のとおりですが、これだけの大きな災害のなか、地域がしっかりし、絆の強い地域ほど多くの人命が助かり、避難生活も大きな問題が起こらなかったようです。また、その中で中学生を中心とした子どもたちが非常に大きな力になってくれたと聞いてまいりました。健やかな子どもたちの成長のためにも、災害に強いまちづくりの上でも、子どもを中心とした顔の見えるまちづくりが必要で、地域の絆がいざという時に非常に大きな力を持つことを再認識いたしました。

旭丘中学校 PTA 村島 智



素敵な経験ですよ

皆さんは「本部」と聞いてどのようなイメージを思い浮かべますか? 「本部」=「大変」と思われる方が多いと思います。でも一人では大変な仕事でも、みんなと協力したら大変ではなくなります。そして「みんなで頑張った」という達成感が強い絆となり、かけがえのない仲間となります。皆さんも少し力を貸していただませんか?

梅小路小学校 PTA 高落 真美



出会い

やるなら楽しく!

この一年間、PTA 活動を通じて、たくさんの方々との良い出会いがあり、また、様々な活動を経験するうちに、人が協力し合うことの素晴らしさを実感しました。

また、PTA 活動をするにあたって、つい成果や結果を先に考えがちですが、それよりも「やるなら楽しく!!」活動することが大切だと感じました。気持ちの持ち方次第で一つの考えにとらわれず、柔軟な考えができるように思います。

PTA 活動を通じて、様々な体験をすることができ、私にとって大変有意義な一年でした。

桂小学校 PTA 向井 結花

子どもを真ん中に

以前、上の子が園に通っていた時に下の子が小さかったので、他の保護者の方にいろいろとお世話になりました。今年度は幼稚園生活最後の年でもあり、「自分にできる事を何かしよう」と思い役員をさせていただきました。醒泉小学校の中にある楊梅幼稚園は幼小交流ができる恵まれた環境にあり、PTA も少人数なので皆でフォローしながら活動できました。役員同士密になり、先生方大変さもあり、幼稚園の事が深く理解できた事がよかったです。そして、幼P委員をさせていただいたおかげで他園の保護者の方とも楽しく交流ができ、子どもたちのために活動していることが、いい結果につながるのだと感じました。

楊梅幼稚園 PTA 幾田 由里子



本部を体験してみて

23年度、PTA 本部が発足してはや1年...8名中5名が初めてというなかでいろいろな行事を運営してきました。はじめは初対面のため、やや緊張したり警戒したり(?)で少し堅い面もあったことを思い出しますが、今となっては「緊張してた人なんかいてへんわー!」とつっこまれそうなくらい、うちとけて楽しくやっています。

清く正しく美しいO会長を筆頭に、しっかり者のH副会長・いつも素敵な文章を書いてくれるS副会長・よく気が付くK副会長・がんばり屋のS庶務・本部だより担当の明るいA庶務・頼りになるK会計、そして、ちょっと天然が入ってるらしいワタクシF庶務が「やるきゃやる」精神で力合わせて日々頑張っています。今年度もあとわずか、息気込みは初心のまま来年度もパワー全開で突っ走ってまいります。

呉竹総合支援学校 PTA 藤井 左紀子

PTA活動は元気の源

PTAの役員を4年やらせて頂きました。総合支援学校では小学部・中学部・高等部の保護者が一緒になって活動します。それぞれ子育ての相談をしたり、時には冗談を言い合ったりして、PTA 活動は私にとって元気になる場所でもありました。私の子どもは卒業でPTA 活動は終わりますが、たくさんの人に会えた事、いろいろ学べた事を感謝しています。

西総合支援学校 PTA 大町 ゆかり

平成24年 春の短期水泳教室開講!

第1期 3月24日(土)~27日(火) (25日(日)を除く)
時間 8:30~10:00
費用 3,500円(税込)

第2期 4月2日(月)~7日(土)
時間 9:00~10:30 [5日(木)まで]
16:30~18:00 [6日(金)・7日(土)]
費用 7,000円(税込)

春期講習 3月10日(土)受付開始!! 午前9時より

対象 幼児(新年中組以上)・小学生 定員 第1期60名・第2期100名(先着順)

幼児・小学生コース
たっぷり30分 じっくり60分
体操 + 水泳
みんないっしょに泳ごう

無料体験レッスン 受付中

会員募集中!

http://www.kyoto-tohsuikai.jp



キョウトウスイカイ スイミングクラブ

財団 京都踏水会 京都市左京区新町33-5 (川丸太町東へ徒歩3分南側入る)

☎ 075-761-1275

安心・便利な送迎バス運行中! 選べる3ルート(若倉・上賀茂・花園方面)